

## 第458回:シャオミが香港デビュー

中国の大手スマートフォンメーカー「小米集団(01810/HK)」が7月9日、香港市場に新規上場した。

初値はIPO 価格(HK \$ 17.0)を2.4%下回るHK \$ 16.6であった。

市場関係者から世界の同業メーカーに比べてバリュエーションが割高との指摘が出され、株価の重石になったようだが、横綱トランプと大関習近平ががっぷり四つに組んだ米中貿易戦争の真っ只中にIPOを強行したという事情を斟酌すれば、まずまずの船出であったと考えるべきだろう。

さて些末な問題で恐縮だが、中国企業が香港や本土に上場するとき、いつも頭を悩ますのが銘柄の呼称である。些事に見えるが、これって証券会社の営業にとって結構大事なことだ。

最も簡単なケースは、日本語でも意味が通じる「中国工商銀行(01398/HK)」や「上海汽車集団(600104/SH)」などで、これはそのままよい。中国語の「汽車」とは、日本語の自動車だが…。

一方日本人には読めない、或いは読みにくい漢字が含まれている銘柄は「騰訊 HD(00700/HK)」=テンセント、「高鑫零售(06808/HK)」=サン・アート・リテールといった具合に英文名を採用するのが一般的だ。

しかし小米集団だけは、中国語の発音をそのまま用いるのが良いだろう。

なぜかといえば、同社は香港に上場する前から、世界のスマホユーザーの間で「シャオミ」として知られた存在だったからだ。

中国のスマホに興味を持つ日本の消費者は多く、スマホに詳しい若者たちは華為=ファーウェイ、小米=シャオミくらい知っている。

その小米を日本語で「しょうまい」や「こごめ」と読んでしまえば、雰囲気合わないし、英文名「XIAOMI Corporation」だと XIAOMI をシャオミと読めない人もいるので、結論からいえば小米と書いて「シャオミ」と読むか、いっそのこと直接「シャオミ」と表記するのがよいだろう。

もともと中国語の「小米(シャオミ)」とは「(脱穀した)粟」を指し、脱穀した白米を意味する「大米(ダーミ)」の対義語だ。

中国ソフトウェア大手「キングソフト(03888/HK)」のCEOを辞任し、2010年にシャオミを設立したオーナーの雷軍氏(48歳)は、企業設立手続きの際に登記担当官から、「小米だから農業関連企業に違いない」と決めつけられた経験があるという。

日本でも中国でも、粟は米が食えない貧乏人の穀物であり、雷軍氏が自分の将来を賭けて設立した会社を敢えて「小米」と名付けたのには深い意味がありそうだ。

中国共産党には、むかし好んで使っていた「小米加歩槍(粟と歩兵銃)」というプロパガンダがある。

原文: 中共靠小米加歩槍打敗了美式裝備的八百万国民党軍隊

訳文: 中国共産党は粟を食み、歩兵銃のみで、米国製の軍備で固めた八百万の国民党軍を撃破した

雷軍氏が8年前に同社を設立した当時、世界のスマホ市場における「八百万の国民党軍」とはアップルや

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

サムソンなどのメジャーを指し、同氏はまだ彼我の差は月とスッポンだが、いつかはアップルを凌駕しようとの思いを込めて小米と名付けたのではないだろうか。

設立当初は、それこそ貧しい農民や出稼ぎ労働者でも買える激安スマホを「売り」としシャオミだったが、ひと倍メンツに拘泥する中国人、特に上海のような都市部に住む人たちは、当時シャオミのスマホを持つことを潔しとせず、鼻の下を伸ばした日本の某駐在員が上海のナイトクラブで、馴染みの彼女にシャオミのスマホをプレゼントしたら、喜ばれるどころか機嫌を損ねてしまったと云う話を、その当人から聞いたことがある。

そんな「安かろう、悪かろう」といったイメージが付きまとっていたシャオミだが、最近ではハイエンド機種の開発にも成功し、世界ランクでサムソン、アップル、ファーウェイに次ぐ存在となっている。

スマホ専門メーカーから出発した同社は、設立当初こそ、スマホ周辺機器としての充電器や、スマホ関連アクセサリの製造販売をちょっとだけ手掛ける程度だったが、その後徐々に経営の多角化を目指すようになり、最近ではタブレット端末「小米平板(Mi Pad)」や、ノートパソコン「小米筆記本(Mi Notebook)」の製造など、情報リテラシーの総合メーカーに脱皮を遂げた。

同社の多角化の動きは止まらず、近年ではスマートテレビを始めとするスマート家電業界に参入し、更には炊飯器や、スマホと連携する空気清浄機を発売するなど、いまやスマホメーカーというよりは、総合家電メーカーと呼ぶのが相応しい同社の業容だ。

いまキングソフトの筆頭株主はシャオミの雷軍氏、また同社の大株主にはテンセントも名を連ねており、キングソフト、シャオミ、テンセントの今後の提携動向が気に掛かる。

シャオミの由来が示すとおり、同社は中国の第一次産業分野にIT技術を導入し、立ち遅れた中国農業のブレークスルーを狙っているようだ。

たとえば農業の施設管理のインフラにシャオミのIT技術を導入して、気温・水温・栽培などのモニタリングシステムの確立や農業ネットワークの拡充等を考えているようだが、これが本格的に稼働し始めれば同社は更に発展するだろう。

のんびりしたペースに終始する大国がいざ動き出せば、一気にギアが切り替わり、圧倒的なスピード感とパワーが、中国の現状を一気に変える可能性がある。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成30年7月11日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3